

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	バースピーカー S 2130		★お買い上げ日:	年 月 日
型番	ASP-SB2130N	品番	03-2330	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな			
	★お名前	様		
お客様	★ご住所	〒	—	
				電話 ()

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話	印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

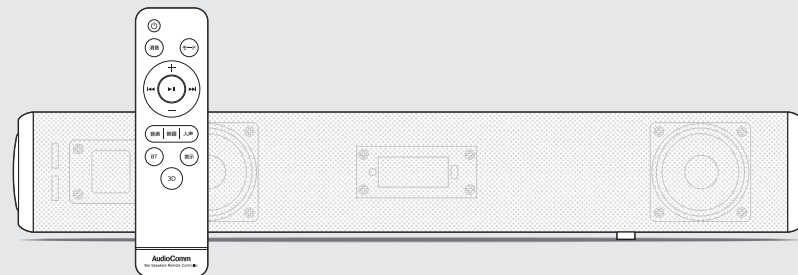
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

バースピーカー S 2130

型番: ASP-SB2130N 品番: 03-2330



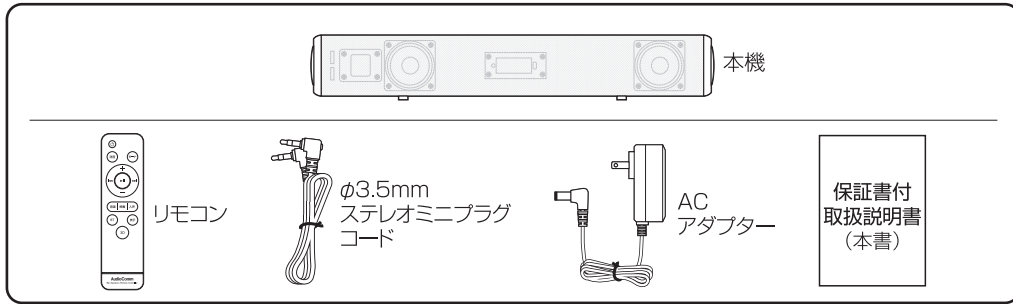
このたびは、AudioComm® バースピーカー S 2130をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

内容一覧(箱の中身をご確認ください).....	1	本機の基本操作.....	8~9
免責事項.....	1	HDMI(ARC)、光デジタル、AUX IN 接続時の操作方法.....	10
安全上のご注意.....	1~3	Bluetoothについて.....	4
Bluetoothについて.....	4	Bluetoothで音楽などを楽しむ.....	11~12
各部の名称.....	5	故障かなと思ったら.....	13
電源の接続について.....	5	お手入れのしかた.....	13
リモコン用乾電池の入れかた.....	6	主な仕様.....	14
接続・設置のしかた.....	6~8	保証書とアフターサービスについて.....	14
		保証書.....	裏表紙

内容一覧(箱の中身をご確認ください)



免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大げななごを負う可能性が想定される内容です。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

	22cm以上離す	心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。		分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
	コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるを確認して、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		水かけ禁止	浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。
	禁止	万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		禁止	医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。 自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。
	接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない ●落雷や感電の原因となります。			狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機やACアダプターを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない ●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
	修理を依頼	ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。			本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	付属品を使う	本機を使用するときは、必ず付属のACアダプターを使う。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使わない ●付属のACアダプターは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。			本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。
	必ず守る	ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐにACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。			本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない ACアダプターを傷つけたり、加工したり、コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●破損して火災・感電の原因となります。
					リモコンから取り外した乾電池は、小さなお子様に触らせない ●幼児の手の届かないところに保管してください。

注意

	コンセントから抜く	お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く ●火災・感電の原因となる場合があります。		コンセントから抜く	長期間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く ●火災の原因となる場合があります。
--	-----------	--	--	-----------	--

⚠️ 注意		
ぬれ手禁止	ぬれた手で操作しない ●感電の原因となることがあります。	禁止
掃除をする	ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまりやすくと自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。	
音量を抑える	大音量で聴き続けず。また、電源を切る前に音量を抑える ●大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 ●大音量のまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。	
極性に注意	乾電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	
禁止	指定以外の電池は使わない ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。 シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。 ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。 ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 日本国以外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠️ 警告	<ul style="list-style-type: none"> 火中への投入、加熱、分解をしない 取り外した乾電池を幼児に触らせない ショートさせない 直射日光や火などの過度の熱にさらさない
-------	--

⚠️ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ⊕⊖の表示どおりに入れる 指定以外の乾電池を入れない 使用推奨期限内の乾電池を使う 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない 使い切った乾電池はすぐに取り出す しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく
-------	--

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内: Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル: A2DP、AVRCP、AVDTP、AVCTP、GAVDP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

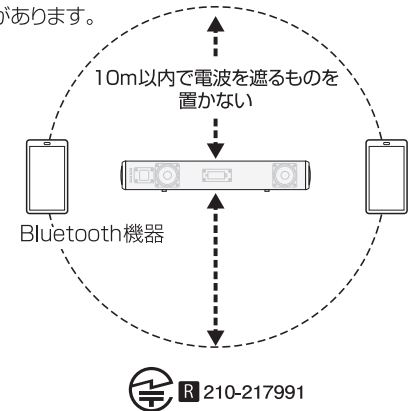
【通信可能範囲】 本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【セキュリティ】 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

【機器認定について】 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。

【使用周波数と注意事項】 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

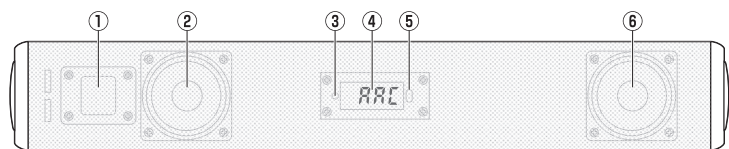
- ご使用前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。



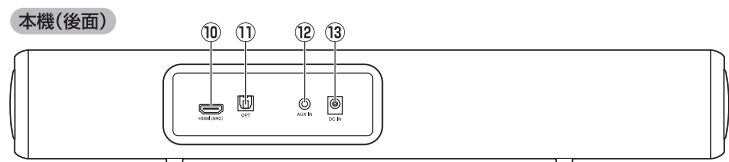
医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

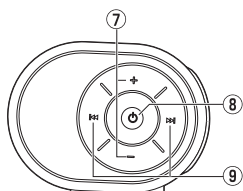
各部の名称



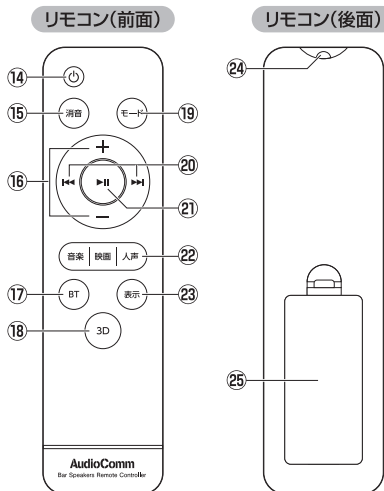
本機(前面)



本機(後面)



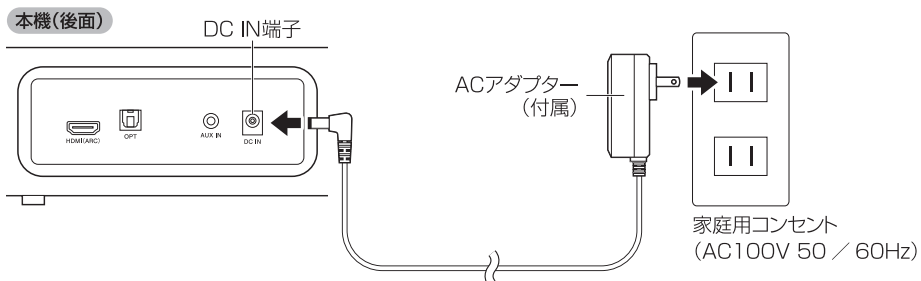
本機(右側面)



- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① Bass air tube | ⑭ 電源ボタン |
| ② 左スピーカー | ⑮ 消音ボタン |
| ③ 通電ランプ | ⑯ 音量ボタン(+/-) |
| ④ ディスプレイ | ⑰ BTボタン |
| ⑤ リモコン信号受信部 | ⑱ 3D(バーチャルサラウンド)ボタン |
| ⑥ 右スピーカー | ⑲ モードボタン |
| ⑦ 音量ボタン(+/-) | ⑳ スキップボタン(⏮/⏭) |
| ⑧ 電源/モードボタン | ㉑ 再生/一時停止ボタン |
| ⑨ スキップボタン(⏮/⏭) | ㉒ プリセットイコライザーボタン |
| ⑩ HDMI(ARC)入力端子 | ㉓ 表示ボタン |
| ⑪ 光デジタル入力端子 | ㉔ 信号送信部 |
| ⑫ AUX IN端子 | ㉕ 電池ボックスカバー |
| ⑬ DC IN端子 | |

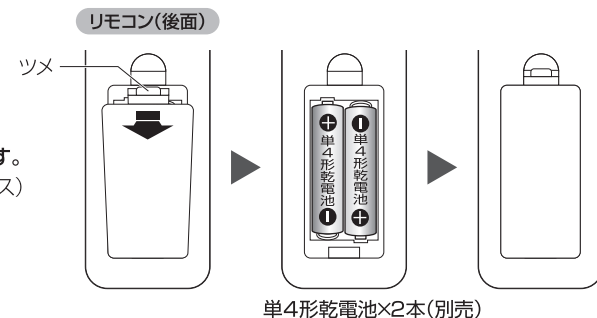
電源の接続について

付属のACアダプターを使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントをつないでください。正しく接続して通電すると、通電ランプ(赤)が点灯します(電源オフの状態)。ACアダプターを抜くときは、事前に必ず本機の電源を切ってください。



リモコン用乾電池の入れかた

- 電池ボックスカバーのツメを押し下げながら手前に引き、電池ボックスカバーを取り外します。
- 単4形乾電池×2本(別売)を⊕と⊖の向きに注意して正しく入れます。
●コイルパネのあるほうが⊖(マイナス)です。⊖側から先に入れてください。
- 電池ボックスカバーを元どおりしっかりと閉めます。



ヒントとご注意

- リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときは、乾電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。

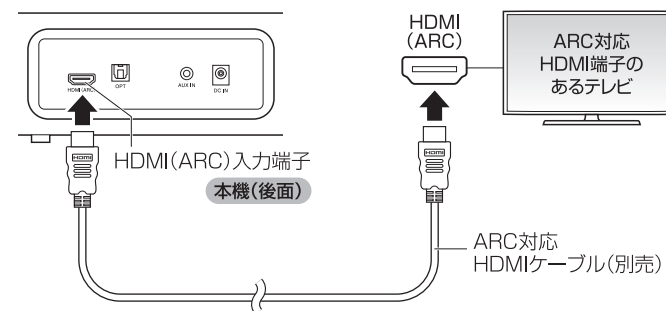
接続・設置のしかた

テレビとの接続のしかた

本機及びテレビの電源が切れた状態で接続してください。下記は一例です。テレビに搭載されている接続端子の種類などに応じた接続方法をお選びください。

HDMI(ARC)入力端子を使った接続方法

ARC対応HDMI端子があるテレビは、ARC対応HDMIケーブル(別売)を使って、本機のHDMI(ARC)入力端子とテレビのARC対応HDMI端子をつなぎます。この場合、テレビ側のARC対応HDMI端子は、入力と記してあっても接続が可能です。



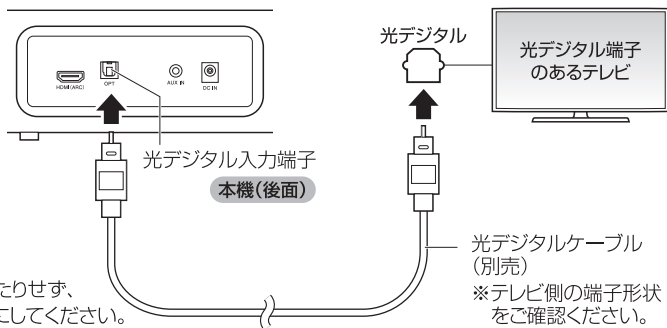
ヒントとご注意

- ARCはAudio Return Channelの略で、音声データを接続機器間で双方向に伝送できるHDMI規格のことです。本機はこの規格に対応しており、テレビのHDMI端子がARC対応であれば、テレビの音声を本機で出力することができます。
- ARC非対応のHDMIケーブルでは、正しく音声出力されないことがあります。接続に際してはARC対応と明記されたHDMIケーブルの使用をおすすめします。
- テレビのHDMI端子がARC非対応でも、出力用の端子であれば上記と同じ接続方法でお使いいただけます(機能の一部は制限される場合があります)。入力用の場合はHDMIケーブルで接続しても本機での音声出力はできませんので、他の方法にて接続してください。

接続・設置のしかた(つづき)

光デジタル入力端子を使った接続方法

テレビに光デジタル端子がある場合は、光デジタルケーブル(別売)を使って、本機的光デジタル入力端子とテレビの光デジタル端子をつなぎます。光デジタル端子には、光角型(本機はこのタイプです)と光ミニプラグがあります。テレビの端子形状を確認し、適合したものをお使いください。



※ケーブルは丸めたり曲げたりせず、できるだけ伸ばした状態にしてください。

※テレビ側の端子形状をご確認ください。

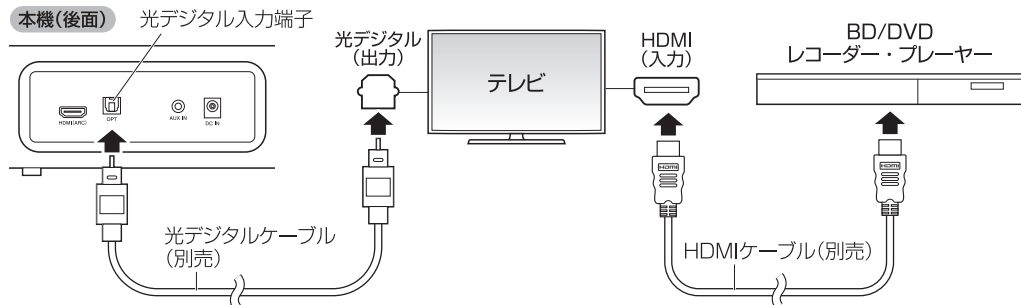
本機とテレビ、BD/DVDレコーダー・プレーヤーをつなぐときの接続方法

各機器の電源が切れた状態で接続してください。

本機とテレビの接続に加えて、BD/DVDレコーダー・プレーヤーとテレビを各出力端子に適したコードでつないでください。詳しくは接続する機器付属の取扱説明書をご確認ください。

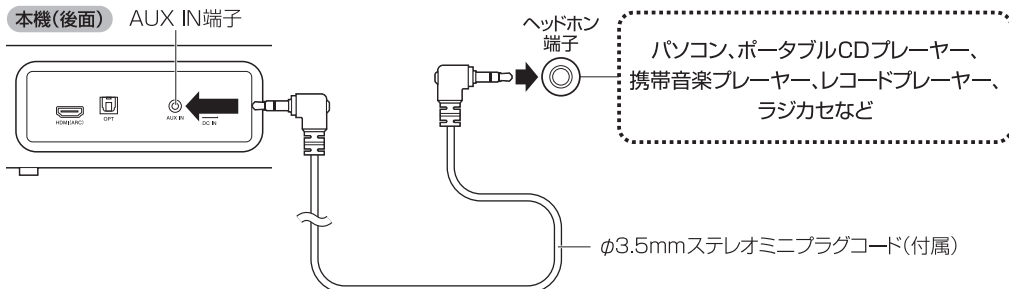
接続例

下図はBD/DVDレコーダー・プレーヤーとテレビをHDMIケーブルで接続し、テレビと本機を光デジタルケーブルで接続するときのイメージです。



AUX IN端子を使った接続方法

ヘッドホン端子があるパソコンやポータブルCDプレーヤー、携帯音楽プレーヤー、レコードプレーヤー、ラジカセなどは、付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、本機のアUX IN入力端子と接続してください。ヘッドホン端子があるテレビの場合は、この方法でもお使いいただけます。

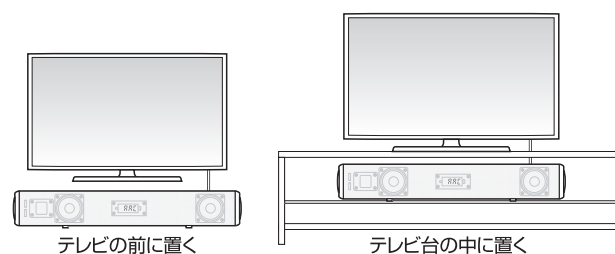


設置について

テレビの前か、テレビ台の中に置いて、お使いになることをおすすめします。

ご注意

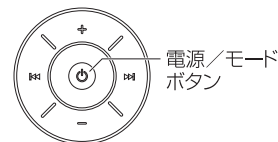
- テレビの前に置くときは、テレビのリモコン信号受光部がさえぎられないようにしてください。



本機の基本操作

電源のオン/オフ

本機(右側面)

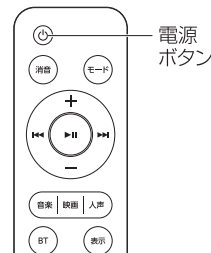


電源オン

本機の電源/モードボタンを約2秒間長押しするか、リモコンの電源ボタンを押すと、電源が入ります。

- 電源が入ると、通電ランプ(赤)は消灯し、選択中のモードがディスプレイに表示されます。

リモコン(前面)



電源オフ

電源が入っているときに、本機の電源/モードボタンを約2秒間長押しするか、リモコンの電源ボタンを押すと、電源が切れます。

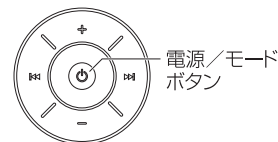
- ディスプレイ表示が消え、通電ランプ(赤)が点灯します。

ヒント

- HDMI(ARC)にてテレビと接続している場合(HDMIモード選択中)は、テレビの電源を切ると本機の電源も自動で切れます。その後、テレビの電源を入れると、しばらくして本機も自動で電源が入り、音声を出力します。また、本機/リモコンで音量を操作すると、音量レベルがテレビに表示され、それを見ながら調節できます(機器により表示されない場合もあります)。

モードの切替

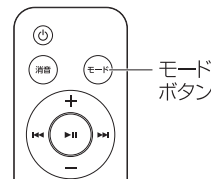
本機(右側面)



本機の電源/モードボタンまたはリモコンのモードボタンを押すと、モード(音源となる接続先)を切り換えることができます。

- ディスプレイにモード名が表示されます。用途に応じて切り換えてください。

リモコン(前面)

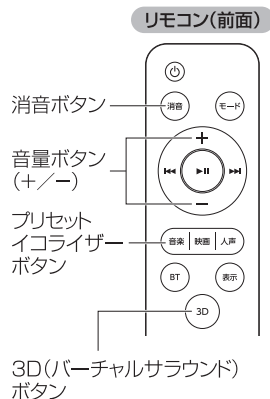
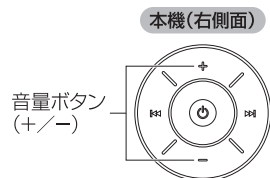


Bluetoothモード → ARCモード → 光デジタルモード → AUXモード

Bluetoothモード ARCモード 光デジタルモード AUXモード
※HDMI(ARC)対応テレビ接続時 ※光デジタル端子接続時 ※AUX IN端子接続時

本機の基本操作(つづき)

音量・音質の調節方法



音量の調節

本機またはリモコンの音量ボタン(+/-)を押すと、音量を調節できます。

- ボタン操作に応じて、音量レベルが約2秒間表示されます。
- 長押しすると、増減スピードが速くなります。



ヒントとご注意

- 音量の調節は、本機/リモコンと音源機器のいずれでも可能ですが、音源機器側の設定を小さくし、本機側の設定を大きくした場合、他のモードに移行したときに大音量になることがありますので、十分ご注意ください。

消音

リモコンの消音ボタンを押すと、本機からの出力を消音します(ディスプレイ表示がゆっくり点滅します)。もう一度押すと、元に戻ります。

ヒント

- HDMI(ARC)、光デジタル、AUX INで接続中は、リモコンの再生/一時停止ボタンを押した場合も、消音ボタンと同様に動作します。

音質の調節

リモコンのプリセットイコライザーボタンを押すと、ジャンルやシーンに応じた音質設定を選べます。

- ボタン操作に応じて、設定が約2秒間表示されます。
 - 音楽(Eq 1)：音楽を聴くのに適した設定になります。
 - 映画(Eq 2)：映画を楽しむのに適した設定になります。
 - 人声(Eq 3)：会話が聞き取りやすい設定になります。



3D(バーチャルサラウンド)

リモコンの3D(バーチャルサラウンド)ボタンを押すと、立体感のある音質になります。

- 一時的に「3d」と表示されます。
- もう一度押すと「OFF」と表示されて、3Dが解除されます。



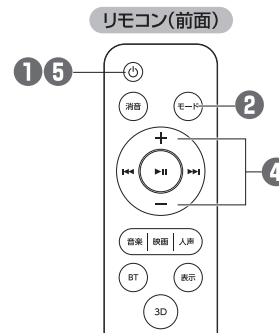
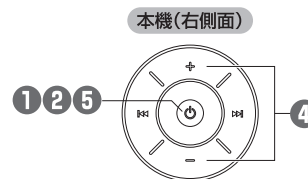
ヒント

- リモコンの表示ボタンを押すと、ディスプレイ表示のオン/オフを切り換えることができます。また、ボタン操作をしないまま約3分経過すると、ディスプレイ表示が消えます。再度任意の操作をすると再表示されます。

表示

HDMI(ARC)、光デジタル、AUX IN接続時の操作方法

「本機の基本操作」(P.8~9)もあわせてご確認ください。



- 1 音源機器(テレビなど)→本機の順番で電源を入れます。
 - 音源機器の電源を入れたときに、音源機器側の音量が大きすぎたり、小さすぎたりしないよう適正に調節し、その後、本機の電源を入れてください。
- 2 接続方法に応じたモードを選びます。
 - 「モードの切換」(P.8)を参照し、正しく選んでください。
- 3 音源機器側で選局(テレビ)や再生などの操作をします。
- 4 音量を調節します。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。
- 5 終了するときは、本機→音源機器の順で電源を切ります。
 - 本機の電源を切ったときは、通電ランプ(赤)が点灯したことを確認してください(点灯しないときは電源が切れていません)。

Bluetoothで音楽などを楽しむ

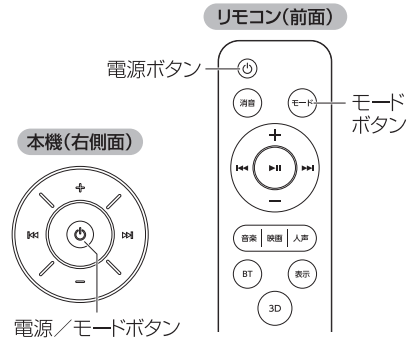
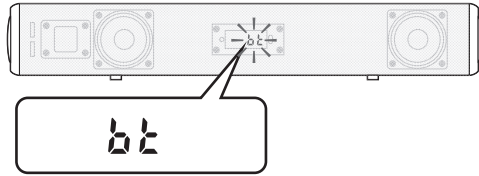
本機では、離れた場所にあるBluetooth対応機器(タブレット端末や携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど：相手側機器)の音楽をワイヤレスで聴くことができます。Bluetoothをはじめて使うときは、必ずペアリング(本機と相手側機器を相互に初期登録する操作)を行なってください。

ペアリングのしかた

- ペアリングするときは、相手側機器の電源が入っている状態で、本機と約1m以内(障害物なし)に近づけてください。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：A2DP、AVRCP、AVDTP、AVCTP、GAVDP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 「本機の基本操作」(P.8~9)もあわせてご確認ください。

1 本機の電源を入れ、Bluetoothモードにします。

- 「bt」が点滅し、接続可能な相手側機器を探している状態(サーチモード)になります。



2 相手側機器で本機を登録します。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone：[設定]→[Bluetooth]

Android：[設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「ASP-SB2130N」が表示されたら、それを選択して登録します。/パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

ペアリングが完了すると…

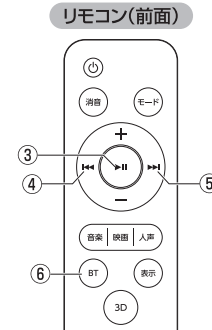
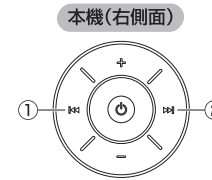
電子音が流れた後「bt」の点滅が点灯に変わり、本機を使用できる状態になります。相手側機器で再生などの操作をしてください。機器によっては、リモコンの再生/一時停止ボタンで、再生を始められる場合があります。

ヒントとご注意

- サーチモードのまま約3分が経過すると、「bt」の点滅は消えますが、電源は切れません。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続可能な状態のときは、本機の電源を入れ、Bluetoothモードにすると、自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。

Bluetoothモード時の主なボタン機能

電源のオン/オフ、モード切替、音量・音質の調節については、「本機の基本操作」(P.8~9)をご参照ください。



本機	操作・動作
①スキップボタン(⏮)	押す：曲の先頭に戻る。続けて押すと、ひとつ前の曲を再生
②スキップボタン(⏭)	押す：次の曲を再生

リモコン	操作・動作
③再生/一時停止ボタン	押す：再生一時停止
④スキップボタン(⏮)	押す：曲の先頭に戻る。続けて押すと、ひとつ前の曲を再生
⑤スキップボタン(⏭)	押す：次の曲を再生
⑥BTボタン	長押し：Bluetooth接続を解除(サーチモードになる) ※Bluetoothモード以外のときに押すと、サーチモードになり、接続可能な相手側機器があるときは自動接続します。

- 一時停止中にスキップボタン(⏮/⏭)を操作したときは、再生/一時停止ボタンを押すと再生が始まります。
- 接続機器や使用アプリによっては、操作できなかったり、動作が異なる場合があります。

ヒントとご注意

- 本機に通話機能はありません。スマートフォンと接続しているときに電話着信があると、再生が一時停止します。スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を終了すると再生を再開します。

故障かなと思ったら

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●ACアダプターが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。ゆるんでいませんか。 ●本機の電源/モードボタンの場合、長押ししましたか(短く押しただけでは電源は入りません)。 ●リモコンの場合： <ul style="list-style-type: none"> ・乾電池は正しく装着されていますか。消耗していませんか。 ・リモコンと本機の距離が離れすぎたり、遮蔽物があったり、斜めの向きから操作していませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていますか。 ●モードが正しく選ばれていますか。 ●本機または音源機器の音量が最小または消音になっていませんか。 ●HDMI / 光デジタル / AUX IN端子接続時： <ul style="list-style-type: none"> ・音源機器と本機は正しく接続されていますか。端子がゆるんだりしていませんか。 ●Bluetooth接続時： <ul style="list-style-type: none"> ・ペアリングしましたか。 ・音声出力先の選択など、相手側機器の設定は正しくなされていますか。 ・相手側機器との接続が解除されていませんか。
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> ●モードが正しく選ばれていますか。 ●相手側機器の電源が入っていますか。 ●相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ●相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる ノイズやエコー音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と相手側機器が10m以上離れていませんか。 ●本機と相手側機器の間に遮蔽物はありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。

※Bluetooth接続時に不具合が起きたときは、相手側の機器に原因があることも考えられます。相手側のBluetooth機器を単独で使用したときに、同様の症状が出るかどうかをご確認ください。

お手入れのしかた

本機及びリモコンの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは使用しない

主な仕様

電源	本機：DC19V リモコン：DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
定格消費電力	35W
定格最大出力	30W(15W×2)
スピーカー	口径57mmフルレンジスピーカー(6Ω)×2、Bass air tube×1
接続端子	HDMI(ARC)端子、光デジタル端子(光角型)、 AUX IN端子(φ3.5mmステレオミニジャック)、DC IN端子
Bluetooth	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver. 5.3 プロファイル：A2DP、AVRCP、AVDTP、AVCTP、GAVDP コーデック：SBC 変調方式/周波数帯域：GFSK / 2.402~2.480GHz 最大通信距離：見通し 約10m(Class2) 再生周波数帯域：55Hz~20kHz(A2DP)
許容動作温度/湿度	温度：0~45℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
外形寸法	幅450×高さ70×奥行92mm(突起物含まず)
質量	約1.15kg
付属品	専用ACアダプター、専用リモコン、φ3.5mmステレオミニプラグコード(約150cm)、 保証書付取扱説明書

※Bluetoothの最大通信距離は目安であり、使用状況により異なります。
 ※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
 ※本書に記載している商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
 ※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
 ※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。
 ※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは 修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。